



校長室から

甘利 尚之

10月21日(木)

10/15 校内音楽会がありました

10月15日(金)、2年ぶりの校内音楽会が行われました。

去年は、コロナ禍のため、開くことがかなわなかった音楽会ですが、今年は、多くの人の協力と工夫の下、行うことができました。

具体的な計画をしたのは、レベルが4, 5の時。この先レベルが下がらなくてもできるように、学校全体を3つに分けての「3部制」、参観保護者も各家庭1人に制限し、かつ、部ごとの入れ替え制で行う計画を立てました。

レベルが高い中での、楽器を使つての演奏練習には制限があります。10月4日、レベルが3となってから、本格的な練習がスタートしたといっても過言ではありません。教室での練習や、二時間目休み、昼休みを使つての練習を駆使して…といったところが実際であったように思います。終盤の追い込み、子どもたちと担任の底力には感服しました。



3部制ですから、自分たちの学年の発表以外は教室に帰り、VTRでの視聴となりました。職員の手が足りない中、PTAの三役の皆さんにお手伝いをいただき、撮影係をやっていただきました。受付にもご協力いただきました。



3部制で、保護者の皆さんが退場した後は、職員、PTAの皆さんで協力し、使用していたパイプ椅子、一つ一つの消毒作業を行いました。当日、ちょうど本校来校日であった、英語専科の先生や、ALTの先生にも手伝っていただきました。



本来であれば、自身の息を吹き込んで音を出す「鍵盤ハーモニカ」やリコーダーのパート、飛沫感染を防ぐ観点から、使用練習が制限されていました。そこで、音楽専科の先生の工夫で、小型の電子鍵盤楽器を多用しました。写真は、アンプにつなぐコードの様子です。たくさんつなぐので、音の調節がとても大変でした。

子どもたちは、本番の発表に向けてしっかり努力し、「ハードル」を一つ乗り越えることができ、成長することができたと思います。また、音楽会には、それぞれの立場で支え、見守っていた「陰の人」が多くいたことを自覚することができれば、更に成長できるのではないかと考えています。